



1 フルマラソンの部でスターターをつとめた宮嶋市長 2 満開の桜の下を走り抜けるランナー 3 沿道から温かい声援 4 春の風を受け市内を走り抜けるランナー 5 YOSAKOIソーランでランナーに元気を与えるなかよしスポーツクラブ 6 手作りの茨城弁川柳でランナーを後押し 7 給水ボランティア 8 ふるさと大使のアントキの猪木さんも沿道でランナーを声援 9 子どもたちも茨城弁川柳で応援

Camera Report



●第22回かすみがうらマラソン
兼国際盲人マラソンかすみがうら大会
主催／かすみがうらマラソン大会実行委員会

ランナーのエネルギー 温かい声援

過去最多の 21,815 人が参加

4月15日、第22回かすみがうらマラソン兼国際盲人マラソンかすみがうら大会が開催されました。郷土を誇る「霞ヶ浦」の湖上を渡る心地よい風を受け、色とりどりのウェアに身を包んだランナーが霞ヶ浦湖畔周回コースを快走しました。

過 去最多の2万1815人が参加した第22回かすみがうらマラソン兼国際盲人マラソンかすみがうら大会。満開の桜と春の風がランナーを迎える中、土浦駅前大通りの川口運動公園北側交差点をスタートし、郷土資料館を中間地点とする霞ヶ浦湖畔周回コースで開催されました。フルマラソンのほか、10マイル(約16キロ)部門、5キロ部門があり、色とりどりのウェアに身を包んだランナーが霞ヶ浦湖畔周回コースを快走しました。

園の建物が崩壊するなど大きな被害を受け、やむなく大会中止の決断をしましたが、この経験で、あらためて大会が多くの皆さまに支えられていることを実感しました。今大会には、多くのランナーの憧れともいえる市民ランナーの星・公務員ランナー、川内優輝選手がフルマラソンの部に出場。沿道から温かく大きな歓声が上がっていました。この大会の成果は、地元住民の皆さまや関係機関、大会を支えていただいているボランティアの皆さまの温かい声援やご協力によるものです。



かすみがうらマラソン

第22回
兼国際盲人マラソンかすみがうら大会

大会テーマ
「蘇れ霞ヶ浦 水はスポーツの源」
サブテーマ
「体験する福祉・ノーマライゼーションの実施」